



牧園町郷土誌

改訂版









牧園町郷土誌

改訂版



## 町 章 の い わ れ

「マキゾノ」の構図でマキはくもにそびゆる高千穂を、ソは天降川の清流を表現し、総体的に観光地として町の平和・向上を示します。

昭和35年制定



大 浪 池



町花 ミヤマキリシマ



町木 モミジ



町鳥 ホオジロ

## 町民憲章

牧園 わたしたちの町  
 多くの祖先が 汗で築き伝えた  
 わたしやあなたの ふるさと  
 水清く みどりあふれるいで湯の町  
 美しい自然と神話の里 牧園

わたしたちは 更に力を合わせ  
 心豊かで 明るい未来をつくることをねがい  
 この憲章の実践につとめます

- 1、わたしたちはすすんで学び教養を高め  
 文化の町をつくります
- 1、わたしたちは互いにいたわりあい  
 健康で明るい家庭をつくります
- 1、わたしたちは生産のよろこびを胸に  
 未来に向けて汗を流します
- 1、わたしたちは雄大な霧島の自然を愛し  
 あたたかい心で旅人を迎えます
- 1、わたしたちは心を一つにして  
 活気に満ちた住みよい郷土を築きます

昭和 55 年 10 月 制 定



議 長  
大 坪      明



町 長  
川 畑 義 照



教育長  
原 田 浩 幸



収入役  
原 田 明 男



助 役  
永 田 耕 一

平成 2 年度『牧園町郷土誌』（改訂版）発刊時



歷代牧園村長



2 代  
永田定介



初代  
津曲兼治



5 代  
永田貞雄



3、4、7代  
森市介



11 代  
松下紀代志



8、9、10代  
樺山友重



6 代  
山口直哉



15 代  
小 谷 正 吉



14 代  
橋 口 郁 介



12、13代  
富 田 重 治



2 代  
永 田 良 幹



初 代  
森 良 孝

歷代牧園町長



5 代  
永 瀬 魁



4 代  
今別府 望



3 代  
松 下 久 敬

歴代牧園町議会議長



2 代  
松 下 紀代志



初 代  
橋 口 郁 介



4 代  
竹 下 平 治



3 代  
池 上 栄 助



7 代  
永 江 早 見



6 代  
池 田 操



5 代  
森 広 良

## 発刊のことば

牧園町長 川 畑 義 照

牧園町には幾多の先人が汗と努力によって築いた多くの文化的遺産があります。このすばらしい遺産を活かし、また後世に引き継いでいくことが私どもの責務でもあります。『牧園町郷土誌』は、明治百周年の記念事業として、二十二年前に発刊され、その後、昭和五十六年に改訂出版がなされています。

町制五十周年を迎え、記念事業として、時代のすう勢とともに移り変わる町の変遷と発展の様子や、更に、内容の充実を図り改訂発刊のはこびとなりました。

このたびの改訂に当たり、限られた時間で精力的に努力を頂きました編集委員各位のご苦勞に深く感謝し、引き続き研究とご協力を賜りますようお願いいたします。

また、町民の皆様が、町総合振興計画の基本理念である「やさしさが人に響く町」牧園町を見つめ直し、この郷土誌が、町勢発展のための貴重な資料として活用されますことを祈念して改訂発刊のことばとします。

平成三年三月

## 郷土誌（改訂版） 発刊によせて

牧園町教育長 原 田 浩 幸

『牧園町郷土誌』は、これまでも編さんされ、郷土の歴史を知るうえで貴重な資料として利用されています。先人の足跡や重要な文化遺産を後世に伝えることは、現代に生きる私たちの使命でもあります。そして郷土を正しく知ることは、愛郷心を育てることになり、新しい歴史を築く時代のかけ橋になります。

平成二年度が牧園町制五十周年に当たり、これを機会に、現在ある郷土誌を見直して改訂し、めまぐるしい時代の流れに沿った郷土誌の編集を前の郷土誌の編集に当たられた委員を中心に編集作業に着手していただきました。委員の皆様には、大変ご無理なご相談を申し上げましたが、短期間に内容の充実した町民の手による郷土誌ができましたことに対しお礼と敬意を表します。また、この郷土誌が町民の皆様の座右におかれ、町民に親しまれるものであり、牧園町を理解する手引書となり、郷土を見直す資料として郷土発展のため大いに役立つことをご期待申し上げます。

平成三年三月



# 牧園町郷土誌(改訂版) 目次

口 絵

発刊のことば

牧園町長 川畑義照

郷土誌(改訂版)発刊によせて

牧園町教育長 原田浩幸

## 第一編 自然・地誌

牧園町全図……………二

第一章 位置・面積……………四

一 位置……………四

二 面積……………四

第二章 地勢・地質……………七

一 地勢・地質……………七

二 霧島の山と湖……………一四

三 霧島山の名称……………一六

四 踊郷時代の「川」……………一八

五 「新川」の名称変更……………一九

第三章 気 象……………二〇

第四章 台風と霧島山の噴火……………二三

一 台風……………二三

二 霧島山噴火の歴史……………二四

第五章 人口・世帯……………二五

第六章 地 名……………二四

一 字 名……………二四

二 集落名……………二六

〔参考〕地名あれこれ……………二九

目 次

## 第二編 牧園の神話（神話のふる

さと）

## 第一章 『古事記』と『日本書紀』……………四四

一 『古事記』……………四四

二 『日本書紀』……………四四

(一) 「帝紀」……………四四

(二) 「旧辞」……………四四

## 第二章 神話のあらすじ……………四七

一 国生み神話……………四七

二 高天原神話……………四八

三 出雲神話……………四八

四 天孫降臨神話……………四九

五 日向神話……………五〇

## 第三章 霧島山と天逆矛……………五三

一 霧島山……………五三

二 天逆矛……………五三

## 第三編 原始・古代

## 第一章 日本文化のはじまり……………五九

一 洪積世の日本……………五九

二 無土器文化（先土器文化）……………五九

〔参考〕年代の表し方、世紀について……………五九

三 旧石器時代の鹿児島……………六〇

四 牧園町の旧石器時代の遺物……………六一

## 第二章 縄文時代……………六三

一 縄文文化……………六三

二 牧園の縄文文化……………六四

三 町内出土の縄文式土器……………六五

## 第三章 弥生時代……………七五

一 弥生文化	五
(一) 遺物	五
(二) 遺跡	六
(三) 社会生活の変化	七
二 鹿児島県の弥生文化	七
三 牧園町の弥生遺跡	九
〔参考〕 吉野ヶ里遺跡	一〇
第四章 古墳時代	一
一 古墳文化	一
(一) 古墳時代のはじまり	一
(二) 古墳時代の時期区分	一
(三) 古墳の形状と分布	二
(四) 埴輪	三
(五) 土師器と須恵器	三
二 熊襲・隼人の古墳	四
(一) 地下式板石積石室	四
(二) 立石土壙墓(成川遺跡)	五
(三) 地下式横穴(地下式土壙墓)	五

三 鹿児島県の古墳時代	五
四 牧園の古墳文化	一〇
(一) 万膳地区	一〇
(二) 三体堂地区	一二
(三) 宿窪田地区	一二
(四) 上中津川地区	一三
(五) 下中津川地区	一三
(六) 持松地区	一四
〔参考〕 中国地区の発掘調査	一五
第五章 熊襲と隼人	一六
一 熊襲・隼人と牧園	一六
(一) 熊襲と牧園	一六
1 熊襲の洞穴	一六
2 小碓城(茶碓城)	一七
(二) 隼人と牧園Ⅱ稲積城	一七
二 熊襲と郷土	一六
(一) 熊襲の語源	一六
(二) 天皇による熊襲征討と郷土	一六
1 景行天皇の熊襲征討(伝承)	一六
2 仲哀天皇の熊襲征討(伝承)	一六

三	隼人と郷土……………	九〇
(一)	「クマソ」から「ハヤト」へ……………	九〇
(二)	ハヤトの語義……………	九二
(三)	ハヤトの墓制……………	九三
四	稻積城（牧園）の修理……………	一〇三
第六章	薩摩・大隅国の成立……………	一〇五
一	薩摩国の成立と隼人……………	一〇五
(一)	薩摩国の成立……………	一〇五
(二)	薩摩国の郡・郷……………	一〇五
(三)	薩摩国の成立と隼人の反乱……………	一〇六
二	大隅国の成立と隼人……………	一〇七
(一)	大隅国の成立……………	一〇七
(二)	大隅国司……………	一〇八
(三)	大隅国の郡・郷……………	一一三
四	大隅国の成立と隼人の反乱……………	一一三
三	桑原郡（始良郡）……………	一二五
四	律令下の治政……………	一二九

(一)	監視体制下の隼人……………	一二九
(二)	中華思想と古代国家……………	一二九
(三)	大隅・薩摩隼人の朝貢……………	一三三
四	隼人の調・庸……………	一三七
1	租・調・庸の制度……………	一三七
2	大隅・薩摩隼人の調・庸……………	一三七
五	班田制と条里制……………	一四〇
(一)	薩・隅における班田制と条里制……………	一四〇
(二)	「台明寺文書」にみる条里制……………	一四二
(三)	牧園における条里制考……………	一四四
六	古文書にみる古代の牧園……………	一四四
(一)	稻積の里から牧園町へ……………	一四二
(二)	古代の牧園……………	一四五
第七章	牧園と和氣清麻呂……………	一五二
一	清麻呂の遺跡……………	一五二
二	河伯祭と清麻呂……………	一五三
三	和氣神社と関係遺跡……………	一五五
1	忠烈和氣公之遺跡の石碑……………	一五五
2	照国公手……………	一五五
3	和氣の湯……………	一五五
4	高尾山寺址……………	一五五

四 義人稻積翁	一五
---------	----

1 義人稻積翁の碑	
2 義人稻積翁住居跡	

第八章 島津荘の開発	一六
------------	----

## 第四編 中世

第一章 鎌倉幕府	一七
----------	----

第二章 島津氏の入国	一八
------------	----

第三章 三州の豪族（大隅・日向）	一九
------------------	----

第四章 建久・田帳	二〇
-----------	----

第五章 元寇と鹿児島	二一
------------	----

一 宋から元へ	二二
---------	----

二 元寇	二三
------	----

(一) 文永の役	二四
(二) 弘安の役	二五

三 元寇における薩・隅の出兵	二六
----------------	----

四 異国警固番役	二七
----------	----

五 石築地役と牧園の割り当て	二八
----------------	----

六 元寇防塁	二九
--------	----

七 御家人の窮乏	三〇
----------	----

第六章 南北朝時代の三州	三一
--------------	----

一 南北朝の動乱	三二
----------	----

二 南北朝時代の三州（薩・隅・日）	三三
-------------------	----

第七章 中世における踊（牧園）	三四
-----------------	----

一 横川氏と踊（牧園）	三五
-------------	----

〔参考〕 横川氏と横川院の関係	三六
-----------------	----

二 税所氏と踊（牧園）	三七
-------------	----

(一) 税所氏系図	三八
(二) 税所氏の滅亡	三九

三 北郷氏と踊（牧園）	四〇
-------------	----

四 北原氏と踊（牧園）	四一
-------------	----

五 中世における牧園の古戦場跡	四二
-----------------	----

(一) 「踊」領内にある城跡	四三
----------------	----



1 踊城古戦場跡	2 改田城古戦場跡
3 三代堂城	
六 踊（牧園）所領の移り変わり	二八
七 中世における牧園の古石塔	二三

(一) 宝篋印塔（伝・曾我どん墓）	二三
(二) 持松・中津川の宝塔	二五
〔参考〕 逆修塔、宝篋印塔、宝塔、石塔、 板碑	二七

八 古文書にみる中世の牧園	三〇
---------------	----

(一) 用松（持松）	三〇
(二) 中津河（中津川）	三二
(三) 宿窪田	三三
(四) 三体堂（三台堂・三代堂）	三三
(五) 万善（万膳）	三三
(六) 高千穂	三三

第八章 豊臣秀吉と島津氏	三四
--------------	----

一 島津氏の三州統一	三四
(一) 島津一族のうちわめ	三四
(二) 冬の時代	三四

(一) 三州経略の布石	三五
(四) 三州統一の完成	三六
二 島津氏の九州制覇の夢	三六
三 豊臣秀吉の西下	三八
四 太閤検地と三体堂領主の喜入転封	三八
五 秀吉の外征と島津氏	三九
(一) 文禄の役と踊（牧園）の士の従軍	三九
1 踊の士平山忠統の従軍	
2 踊の士福永 助十郎の虎狩り	
(二) 慶長の役	三三

## 第五編 近世

第一章 幕藩体制の確立	三四
-------------	----

一 江戸幕府の成立	三四
二 幕藩体制	三四
第二章 薩藩の成立	三六
一 開藩の事情	三六

目次	
第二章 当時の風潮	三三
三 領域と人口	三六
四 身分制度	三八
五 藩の職制	四〇
第三章 薩摩藩の仕組み	四一
一 外城制度	四二
二 踊の地頭	四三
三 門割制度	四四
第四章 踊郷の成立	四六
一 踊郷の境域	四六
二 踊の郷士	四九
三 踊の給地高	五〇
四 貢租	五一
五 門の配置	五二
六 野町	五三
第五章 郷士の生活	五五

一 武術とその稽古	五五
二 朱子学と禅	五五
三 踊と本府	五七
第六章 踊郷の産業	五八
一 畑作	五九
二 山の幸	六〇
三 稲作	六一
第七章 踊の農民生活	六二
一 家居	六二
二 家を建てる	六三
三 衣	六四
四 食	六五
第八章 信仰	六六
一 ウツガンマツイ（氏神祭）	六六
二 ホゼ	六七
三 田の神講と庚申待ち	六八

## 第六編 近代

## 第一章 明治維新……………三六

一 維新の推進と坂本龍馬……………三六

二 戊辰の役従軍記……………三四

## 第二章 戸長制……………三八

一 踊の常備隊……………三八

二 戸長制……………三五

## 第三章 諸制度の改革と廃仏毀釈……………三五

一 諸制度の改革……………三五

二 廃仏毀釈……………三五

## 第四章 西南戦争……………三六

一 私学校……………三六

二 開戦前後……………三一

三 踊の戦闘……………三四

四 早馬サア……………三五

五 石敢当……………二六

六 その他の信仰……………二六

七 寺と寺請制度……………二二

八 かやかべ……………二二

## 第九章 霧島と幕末……………二六

一 霧島霊地観……………二六

(一) 霧島崇拜……………二六

(二) きりしま霊地観……………二〇

二 霧島温泉考……………二四

(一) あらまし……………二四

(二) 温泉の起源……………二〇

三 夜明け前……………二四

(一) 和気清麻呂の顕彰……………二四

(二) 孝子の表彰……………二七

(三) 夜明け前……………二九

(四) 国学への傾倒……………二二

〔参考〕 鹿兒島風流……………三二

四	西郷、踊の一夜	三六
---	---------	----

第五章	牧園村の発足	三七〇
-----	--------	-----

一	始良郡	三七〇
---	-----	-----

二	県会と村会	三七二
---	-------	-----

三	戸長制（つづき）	三七六
---	----------	-----

四	牧園村の誕生	三八〇
---	--------	-----

第六章	国立種馬牧場	三八三
-----	--------	-----

第七章	日露戦争	三八六
-----	------	-----

一	和気清麻呂遺跡碑の建立	三八六
---	-------------	-----

二	日露戦争	三八八
---	------	-----

三	国立製材所の設置	三九〇
---	----------	-----

第八章	明治末期から大正期	三九二
-----	-----------	-----

一	明治末の牧園	三九二
---	--------	-----

二	大正初期の牧園	三九四
---	---------	-----

三	大正後期の牧園	三九七
---	---------	-----

第九章	大正デモクラシーと牧園	四〇二
-----	-------------	-----

〔参考〕	霧島と日暮さあ	四〇三
------	---------	-----

第十章	昭和初期	四〇五
-----	------	-----

一	昭和初期の牧園村	四〇五
---	----------	-----

二	霧島国立公園の成立	四〇一
---	-----------	-----

三	戦いへの道	四〇三
---	-------	-----

四	町制実施	四〇四
---	------	-----

五	第二次世界大戦	四〇七
---	---------	-----

## 第七編 現代

第一章	行財政の進展	四〇四
-----	--------	-----

一	行政	四〇四
---	----	-----

(一)	戦後の町政	四〇四
-----	-------	-----

(二)	地方自治制度制定後の牧園	四〇五
-----	--------------	-----

(三)	牧園町政五〇年のあゆみ	四〇七
-----	-------------	-----

(四)	町制施行五十周年記念行事	四〇八
-----	--------------	-----

〔参考〕	牧園町民歌・まきその音頭	四〇三
------	--------------	-----

(五) 行政機構	四四〇	(五) 鹿児島空港と牧園	五八六
(六) 選挙	四四二	(六) 交通安全対策	五八九
〔参考〕 投票所の変遷、その他	四四三	二 通信	五〇〇
(七) 議会	四四七	1 郵便事業の制度と発達	
二 財政	四四七	創始	
(一) 財政状況	四七七	3 電信・電話の発達	
1 一般会計歳入・歳出決算	2 特別会計	各郵便局	
歳入・歳出決算	3 町税の状況	5 ラジオ・テレビ	
債の状況	5 新過疎法成立	三 治安	五八
町村民所得概要	6 県内市	(一) 警察	五八
〔参考〕 昭和六十三年国内経済関係三大ニュース		(二) 防犯体制の充実	五九
ス	四九	(三) 消防	五二
(二) 町有財産	四九	〔参考〕 中津川地震	五三
第二章 生活環境の整備	五二	四 保健・衛生	五三
一 交通	五二	(一) 基本方針と現状の課題	五三
(一) 道路	五二	(二) 今後の計画	五四
(二) 鉄道	五三	(三) 町内の医療機関	五八
(三) 乗合馬車	五四	五 公共施設	五九
四 バス	五五	六 上水道	五五
		七 住宅	五七
		(一) 町公営住宅	五七



### 第三章 社会福祉の増進

(一) 雇用促進住宅……………五七

一 社会福祉の充実……………五九

(一) 戦前の社会福祉……………五九

(二) 戦後の社会福祉……………五九

(三) 社会福祉一般……………六〇

(四) 生活保護制度……………六六

(五) 児童福祉……………六六

(六) 高齢化社会に向けての福祉対策……………六七

(七) 保育所と保育園……………六八

(八) 特殊医療施設……………七〇

二 国民健康保険……………五七

三 国民年金……………六〇

四 失業対策事業……………六二

### 第四章 産業……………六三

一 農業……………六三

(一) 農業委員会……………六三

(二) 食糧供出制度と増産……………六六

(三) 農業基本法の制定……………六八

四 農村三作運動……………六八

(四) 農業構造改善事業……………六九

(六) 米の生産調整と農業振興地域整備法……………五九〇

(七) 農業の概況……………五九三

(八) 主な農業作物……………六〇一

(九) 茶業……………六〇三

(十) 養蚕……………六〇五

(十一) たばこ……………六〇六

(十二) 農業団体……………六〇七

二 林業……………六九

1 林業の概況……………六九

2 林業の振興……………六九

3 林業構造改善事業……………七〇

4 しいたけ……………七〇

5 町有林……………七〇

6 森林組合……………七〇

7 全国植樹祭……………七〇

8 国土調査……………七〇

三 畜産……………七〇

1 畜産の概況……………七〇

2 戦後の畜産……………七〇

3 馬産……………七〇

4 肉用牛……………七〇

5 乳用牛……………七〇

6 畜産の現況と振興……………七〇

7 寺原六観音……………七〇

8 種雄……………七〇

9 牧園牧場概要……………七〇

四	水産業……………	四〇
五	商業……………	四一
六	地熱開発と発電所……………	四五
(一)	地熱開発……………	四五
(二)	発電所……………	四八
第五章	教育の振興……………	五〇
一	学校教育……………	五〇
(一)	戦後の教育制度・機構の変遷……………	五〇
(二)	平成二年度の町教育行政の概況……………	五三
〔参考〕	教科書のうつりかわり……………	五三
二	町内の教育施設……………	五五
(一)	町内小学校の沿革概要……………	五五
(二)	旧町内中学校の沿革概要……………	五五
(三)	統合牧園中学校の沿革概要……………	五八
(四)	牧園高等学校の沿革概要……………	五九
(五)	鹿児島県立農業大学校……………	六一
(六)	鹿児島県立霧島青年の家……………	六三
(七)	町内幼稚園の沿革概要……………	六四
(八)	学校給食センターの概要……………	六七
第一章	霧島屋久国立公園……………	七六
〔参考〕	観光姉妹町の盟約……………	七七
一植物	……………	七七
1	山ろく地帯……………	七七
2	山腹地帯……………	七八
3	大浪……………	七八
池—韓国岳付近	……………	七八
4	南霧島の植物……………	七八
二動物	……………	七七
1	哺乳類……………	七七
2	鳥類……………	七八
3	魚類……………	七八
4	昆虫類……………	七八
三気象	……………	七八
三	社会教育……………	七九
(一)	社会教育の概要……………	七九
(二)	社会教育の充実……………	八〇
(三)	社会教育活動の概況……………	八二
(四)	生涯学習への取り組み……………	八二
(五)	牧園町総合運動場整備事業……………	八三
第八編	観光……………	八三
(四)	霧島学園の沿革概要……………	八七

四	観光資源	七九
---	------	----

(一)	主要山岳・高原	七九
-----	---------	----

(二)	湖沼	七九
-----	----	----

(三)	滝	七九
-----	---	----

五	霧島に関する詩歌	七三
---	----------	----

第二章	霧島温泉の沿革並びに現況	七五
-----	--------------	----

一	概説	七五
---	----	----

二	各説	七六
---	----	----

(一)	丸尾地区	七六
-----	------	----

(二)	林田地区	七六
-----	------	----

(三)	硫黄谷地区	七九
-----	-------	----

(四)	横瀬地区	七九
-----	------	----

(五)	その他の地区	七九
-----	--------	----

第三章	新川溪谷温泉郷	七九
-----	---------	----

一	新川溪谷温泉の沿革並びに現況	七九
---	----------------	----

1	間手ヶ原温泉	2	鶴の湯	3	塩浸
---	--------	---	-----	---	----

湯泉	4	ラムネ温泉	5	日の出温泉
----	---	-------	---	-------

6	安楽温泉	7	妙見温泉	8	折橋温
---	------	---	------	---	-----

泉	9	坂本龍馬のハネムーン
---	---	------------

〔参考〕	坂本龍馬・お龍像建立の経過	七七
------	---------------	----

二	名所	七七
---	----	----

1	犬飼の滝	2	和気の湯	3	馬込地
---	------	---	------	---	-----

区の甌穴群
-------

三	霧島温泉観光案内所	七二
---	-----------	----

第四章	今後の観光開発計画	七三
-----	-----------	----

一	基本方針	七三
---	------	----

二	現況と課題	七三
---	-------	----

三	計画の内容	七四
---	-------	----

〔参考〕	牧園町五大イベント	七五
------	-----------	----

四	観光客入込数並びに今後の入込客数推計	七七
---	--------------------	----

五	宿泊施設等の案内	七九
---	----------	----

第九編	社寺・史跡
-----	-------

第一章	神社	七四
-----	----	----

一	飯富神社	七四	(一)	笠取の戦跡	七六
二	八幡神社	七五	(二)	和気清麻呂公流謫の遺跡	七九
三	伊邪那岐神社	七六	(三)	義人稲積翁の碑	七〇
四	堅神社	七七	(四)	熊襲穴居跡	七〇
五	温泉神社	七八	(五)	宝篋印塔	七二
六	和気神社	八〇	(六)	踊城跡	七三
七	聖神社	八二	(七)	ツゴドン墓	七三
八	水天宮	八三	(八)	オイッサマの墓	七四
第二章	仏閣	八三	二	古社の跡	七六
一	正福寺	八三	(一)	霧島神社	七六
二	高台寺	八五	(二)	檉神社跡	七七
第三章	その他	八六	三	仏閣の跡	七七
一	創価学会九州研修道場	八六	(一)	真福院の跡	七七
第四章	史跡・名所	八六	(二)	東光寺の跡	七七
一	古跡	八六	(三)	釈迦堂の跡	七八
(一)	南州翁宿宮の跡	八六	(四)	観音堂の跡	七八
			(五)	音川山玄龍寺跡	七八
			(六)	久習山一雄院跡	七八
			四	御展望所聖蹟と全国植樹祭跡	七八

〔参考〕 第三十五回全国植樹祭……………七九

五 戦没者慰霊碑……………八〇

六 延命地藏尊……………八〇

七 犬飼のエドヒガン……………八一

## 第十編 民俗

第一章 風俗・風習……………八四

一 年間行事……………八四

〔参考〕 不特定な行事……………八五

二 牧園の方言……………八〇

三 俚 諺……………八九

四 本町にある薬用植物……………八三

五 俗 信……………八三

六 暦の知識……………八五

第二章 伝承芸能……………八四

一 太鼓踊り……………八四

(一) 三体太鼓踊り……………八五

(二) 万膳太鼓踊り……………八五

(三) 太鼓踊りの形式……………八六

二 九面太鼓……………八七

三 棒踊り……………八八

四 ザツ踊り……………八〇

五 茅の輪くぐり……………八二

六 稲造踊り……………八三

七 町内で歌われている代表的な歌……………八三

第三章 民話と田の神信仰……………八五

一 大浪池の由来……………八五

二 聖神社の由来記……………八六

三 新湯の由来記……………八八

四 愛宕神社の由来記……………八九

五 くまその洞穴……………九〇

六 小碓城……………九〇

七 祝 橋……………九一

八 蛭のいな里	八五
九 庚申さま	八五
十 竜石	八七
十一 孝子伝	八八
(一) 永岩次郎	八八
(二) 安栖なつ子、弟袈裟次郎	八八
(三) 高橋万左エ門	八九
十二 一りん塚	八九
十三 田の神さあ	八〇
〔参考〕 田の神の文化財指定	八五
第十一編 牧園町の発展	

一 まちづくりの基本目標	八六
二 まちづくりの将来像	八六
(一) 牧園町のまちづくり	八六
(二) 牧園町の顔づくり	八六
(三) 牧園町の人づくり	八七

三 計画実現の方策	八七
四 計画実現への歩み	八七
(一) 庁舎建設本格的に着工	八七
(二) 高齢化社会への対応	八七
(三) 土地基盤整備事業の促進	八七
(四) 地場産業の育成と企業の誘致	八七
(五) 霧島温泉郷丸尾地区街並み整備計画	八七
(六) 霧島国際芸術の森の整備計画	八七
(七) 霧島高原乗馬クラブ	八七
(八) 牧園中学校陸上部の活躍	八七
(九) 大関霧島の初優勝	八七

## あとがき

牧園町郷土誌年表	九
牧園町郷土誌参考文献	七
牧園町郷土誌索引	一

題字揮毫 牧園町長 川畑義照